

12/8

日

14:00開演(13:00開場)
岡山シンフォニーホール大ホール

管弦楽:岡山フィルハーモニック管弦楽団
合唱:岡山“第九”を歌う市民の会

“第九”ウィーン初演から200年

ベートーヴェン“第九”演奏会2024

Beethoven Symphony No.9

指揮
秋山 和慶



©堀田力丸



ソプラノ
塚村 紫



メゾ・ソプラノ
糸谷 栄里子



テノール
中島 康博



バス・バリトン
木村 善明



合唱指揮
堀 俊輔

♪演奏前に指揮者:秋山氏と合唱指揮者:堀氏によるトークあり

入場料[全席指定] S席:5,500円 A席:4,400円 B席:3,300円 B席ユース:1,000円

主催:公益財団法人 岡山文化芸術創造 共催:岡山市

公演に対する問い合わせ先:岡山シンフォニーホール 事業部

TEL. 086-224-1950 FAX. 086-234-1968 MAIL. j_info@okayama-symphonyhall.or.jp

※「友の会」会員は10%割引。※B席ユースは19歳以下に限る。(学生証をお持ちの方は25歳未満までご購入いただけます)※未就学児童の入場はお断りいたします。また、小学生以上の場合は入場券が必要です。※やむを得ない事情により、曲目、出演者が変更となる場合があります。

※当ホールには駐車場がございません。公共交通機関のご利用をお願いします。※本公演は途中休憩がありません。



文化庁
文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

Beethoven Symphony No.9

秋山 和慶 指揮 Kazuyoshi Akiyama



齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、トロント響副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキュース響音楽監督、大阪フィル首席、札幌響首席、広島響首席、九州響首席などを歴任。サンフランシスコ響、クリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放送響、ケルン放送響、ベルリン放送響、スイス・ロマンド管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。

これまでに第6回サントリー音楽賞(1975年)、芸術選奨文部大臣賞(1995年)、大阪府民劇場賞(1989年)、大阪芸術賞(1991年)、第36回川崎市文化賞(2007年)、広島市民賞(2008年)をはじめ、東京響とともに毎日芸術賞(1994年)、第8回京都音楽賞大賞(1993年)、モービル音楽賞(1996年)、第29回サントリー音楽賞(1997年)を受賞。2001年11月に紫綬褒章、2011年6月には旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。

2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは?」(共著/アルテスパブリッシング刊)を出版。

現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、岡山フィルハーモニック管弦楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ芸術顧問など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

2024年には指揮者生活60周年を迎えた。



塚村 紫
ソプラノ
Yukari Tsukamura

総社市出身。山陽女子高等学校音楽科卒業。武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科首席卒業。同大学院声楽専攻ヴィルトゥオーソコース首席修了。レインボウ21サントリーホールデビューコンサート2013武蔵野音楽大学プロデュース、知られざるヴェルディ&ヴァーグナー～オペラの巨匠たちの器楽曲と歌曲～で『ヴェーゼンドンク歌曲集』5、夢(ハイト編曲による弦楽アンサンブル伴奏版)を日本初演し、好評を得る。テレビ朝日「題名のない音楽会」、BS-TBS「日本名曲アラバム」等に出演。オペラでは、「ヘンゼルとグレーテル」魔女・ゲルトルート、「修道女アンジェリカ」タイトルロール、「ワルキューレ」ゲルヒルデ(カヴァーキヤスト)、「ローエングリン」オルトルート等、多数のオペラに出演している。作曲家からの信頼も厚く、現代歌曲の初演も依頼されている。新国立劇場合唱団コンサートメンバー。七田式三鈴学園講師。山陽学園高等学校Musicコース非常勤講師。



糸谷 栄里子
メゾ・ソプラノ
Eriko Kojitani

私立神戸女学院中高部を経て神戸女学院大学音楽学部卒業、同大学院修士課程修了。京都市立芸術大学大学院音楽研究科修了。第9回東京国際声楽コンクール西日本第1位金賞及び神戸新聞社賞受賞、全国大会奨励賞受賞。第38回飯塚新人音楽コンクール入選。アルソロとして大阪交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団等多くのオーケストラと共に演。オペラでは、モーツアルト「フィガロの結婚」マルチェッリーナ等で出演し、特にビザー「カルメン」タイトルロールにおいて歌唱・演技・舞踊共に高い評価を得る。関西二期会準会員。関西学院大学混声合唱エゴラード他多数の合唱団にて指導を行う。神戸女学院中高部非常勤講師。



中島 康博
テノール
Yasuhiro Nakashima

大阪芸術大学卒業、同大学院博士前期課程修了。同大学院博士後期課程単位取得退学。第29回日音祭日本歌曲コンクール歌唱部門入選。第9回国際音楽祭声楽コンクール審査員特別賞受賞。2024年ひろしまオペラルネッサンス「ジャンニ・スキッキ」リヌッチョ役にて出演。同年1月関西フィルハーモニー管弦楽団ニューアイマークサートにてテノール独唱をつとめる。現在、なわて混声合唱団、関西大学グリークラブ、各ヴォイストレーナー、NMP実行委員。なわて混声合唱団団長。大阪キリスト教短期大学非常勤講師。関西二期会会員。



木村 善明
バス・バリトン
Yoshiaki Kimura

倉敷市出身。東京藝術大学卒業、同大学院修了。博士号(音楽)取得。2007年に渡独。ドイツ、フランス、ベルギーで研鑽を積み、ドイツ国家演奏家資格取得。岡山県芸術文化賞グランプリ、福武文化奨励賞、五島記念文化賞オペラ新人賞、倉敷市芸術文化栄誉賞、マルセン文化賞等、受賞多数。2014/15年のシーズンから、ドイツ・ビーレフェルト歌劇場と专属歌手契約を結び、ソリストとして活躍中。モーツアルト『フィガロの結婚』フィガロ、ワーグナー『ライネの黄金』アルベリヒ、同『パルジファル』クリングゾル、グノー『ファウスト』メフィストフェレスなどバス・バリトンの重要な役どころを任されている。また、モーツアルト、ヴェルディ、ブームス、フォーレのレクイエムやベートーヴェンの「第九」等をコンサート・レパートリーとしている。



堀 俊輔 合唱指揮 Shunsuke Hori

東京芸術大学で作曲と指揮を学ぶ。指揮科卒業後、1989年東京交響楽団副指揮者就任、90年東響特別演奏会で正式デビュー。91年にはニューヨーク州シュラキュース交響楽団を指揮しアメリカデビューを飾った。94年オラトリオ東京を創立、音楽監督に。99年には文化庁在外研修員としてメトロポリタン歌劇場にて、レヴァイン、ゲリギエフの下で更なる研鑽を積む。2001年サントベテルブルク音楽祭、03年プロコフィエフ国際指揮者コンクール、04年にはリスボン・メトロポリタン・オーケストラ(ポルトガル)客演など、ロシア、ヨーロッパにも活動範囲を広げている。東響とのコラボレーションには定評があり、シューマン「楽園とペーリ」(レコード芸術特選。毎日新聞推薦)、デュルフレ「レクイエム」(レコード芸術特選年間アカデミー賞ノミネート)は各紙で絶賛され、声楽付オーケストラ作品の第一人者としての地位を不動のものとした。13年、中部フィルと「グレート! シューベルト」のタイトルで「ザ・グレート」「未完成」を同オーケストラ初録音(ぶらあぼ誌、音楽現代誌、推薦)。また軽妙なエッセイストとしても人気を博している。シュトゥットガルト・バッハ・アカデミー2006において指揮部門最優秀賞。東京交響楽団クリエイティブアドバイザー・指揮者、中部フィル正指揮者などの要職を歴任。2024年4月、バッハ「マタイ受難曲」を神奈川フィルと共にリリース。秋山和慶指揮、岡山第九には2018年に続き2度目の登場。

岡山フィルハーモニック管弦楽団 Okayama Philharmonic Orchestra

1991年に開館した岡山シンフォニーホールは、国内外のアーティストから音響の素晴らしいホールとして高い評価を獲得。これを機に文化庁の補助を受けて、岡山にゆかりのあるメンバーを中心に優れた演奏者で構成された岡山県初のプロオーケストラ、岡山フィルハーモニック管弦楽団が1992年に創設。

以来、世界の著名な指揮者・ソリストを迎えて開催する定期演奏会をはじめ、若い演奏家の育成事業、青少年の情操教育に資する事業、子育て支援や地元演奏団体との共演等、地域における音楽芸術振興の中心的役割を担っており、公演回数は年間100回を超えていた。

また、2013年には岡フィル初の首席指揮者としてハンスイエルク・シェレンベルガーが就任し岡フィル強化に取り組んできた。2022年度からは秋山和慶がミュージック・アドバイザーに就任、一層の飛躍を図る。

今後も岡山独自の音楽スタイルをもつ「おらがまちのオーケストラ」として皆様から誇りと愛情をいただける楽団へと成長すべく挑戦を続けている。

平成12年第1回岡山芸術文化賞グランプリ受賞。平成15年第4回福武文化奨励賞受賞。平成16年第1回マルセン文化賞受賞。平成21年度岡山県教育関係功労者表彰。平成24年山陽新聞奨励賞受賞。

[プレイガイド] ※車いす席をお求めの方は、岡山シンフォニーホールチケットセンターへお問い合わせください。

岡山シンフォニーホールチケットセンター 086-234-2010
岡山芸術創造劇場ボックスオフィス 086-201-2200
岡山県音楽文化協会 086-224-6066
ぎんざや 086-222-3244

イープラス eplus.jp / ファミリーマート
チケットぴあ (Pコード259-508)
ローソンチケット (Lコード:62475) https://l-tike.com/

岡山シンフォニーホール/
岡山芸術創造劇場オンライン・チケット
※右記からもご購入いただけます。

